まちかど ネットワーク

お便りください

このコーナーは、皆さんの地域の話題を中心にお届けします。お便りや出来事を広報広聴課☎51－0123内線2822へお寄せください。

市長への手紙から

転入者のために情報誌をください。

水戸島にお住いの川島清子さんは、東京から転入されました。転入者のために、市民課の窓口で、「町の情報資料をください」というご意見です。

〈市長への手紙〉

転入届を出しに行って強く感じたことですが、初めての土地では、市が発行している情報誌がとても心強い味方となります。

都内では、転入届を出すと情報誌(官公庁所在地)、地図、名所旧跡など載っている資料がもらえますが、富士市の場合は、こちらが請求するとくださいました。私は、町を歩くのが好きなので請求しましたが、多くの方はそのまま帰ってしまうのではないでしょうか。転入者のために、情報誌を市民課の窓口に置き、配布していただけたらとてもうれしいです。

〈市長の答え〉

新しい町へ引っ越したとき、誰でも、町の情報を知りたいと思うのは、当然のことと思います。

市は、これまでもごみの収集など、生活に必要な情報を掲載した冊子や観光パンフレットを、転入された人に配布してまいりました。しかし、ご指摘のように、請求があった場合に限られていました。

そこで、届け出窓口などに資料のあるのがわかるよう看板などをつけ、請求しやすいようにいたします。また、新しく市民となった皆さん用に、主な公共施設や小児科・外科などの病院を記入した「シティマップ」をつくりましたので、これまでの資料と合わせ、差し上げたいと思います。

そのほか、ビデオ「今日からあなたも富士っ子」を貸し出しています。ご利用ください。

川島清子さん

わいわい広場

桜に誘われて

◁ふれあいショップ〝あゆみ〟で

同じ病気の人たちや家族が、楽しい時間を持ちましょうと、毎月第一木曜日に集まることから名づけられた「一木(いちき)の会〝富士市パーキンソン病友の会〟」。

ふだんは何となく引きこもりがちのみなさんが、桜の花に誘われて、市内の公共施設めぐりに出発しました。

岩本山の桜に歓声を上げ、岩本園では、ディサービスの説明に聞き入り、焼きたてのパンを買った、〝あゆみ〟でのショッピングなど。

「いい気分転換ができました」と、会員のみなさん。

カラオケ教室 歌の一つも歌わなきゃあ

富士公民館の、カラオケ教室の生徒は二十人。生徒と言っても、三十代から八十代まで幅広い年齢層。加藤徳雄先生の弾くキーボードと、滋子先生の歌に合わせて、今日も快調にスタート。

加藤先生の指導法は、正しい音程や伸ばし方、また息つぎの方法などそれは丁寧。市内十カ所の教室は、どこも満員とか。

生徒の一人は、「子供に、ちったあ、うまくなったなんて言われるし、宴会で歌の一つも歌わなきゃあ」と、笑います。